

すいさい園[®]ベンチタイプ

取扱説明書

この度はすいさい園[®]ベンチタイプをお買い求めいただきありがとうございます。すいさい園[®]ベンチタイプは家庭で楽しむための水耕栽培キットです。ご使用前に本取扱説明書をお読みいただき、末永く安全にご愛用くださいますようお願い申し上げます。また取扱説明書は必要に応じていつでも見ることができるよう大切に保管して下さい。

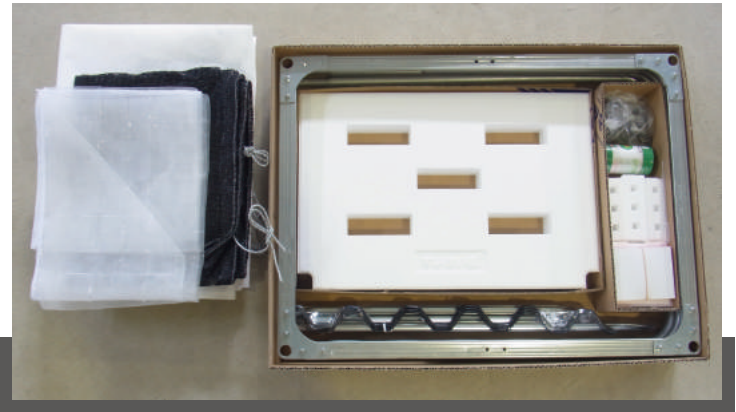


みんなで、楽しもう
楽々水耕栽培で野菜作り

—もくじ—

梱包内容	1 ページ
架台を立てる	2~3 ページ
水貯めシートを張る	4 ページ
ネット用パイプを立てる	5 ページ
ネットを付ける	6 ページ
栽培を始める	7~8 ページ

【梱包イメージ】



梱包内容

1.架台を立てる… P.2 P.3 P.5 P.6

No.	品名	数量
1-1	脚パイプ (75cm)	2
1-2	ネット用パイプ (49cm)	2
1-3	ベンチ枠体	1
1-4	筋交取付金具	2
1-5	脚部筋交 (55cm)	4
1-6	筋交取付金具ボルトナット	各8
1-7	栽培ボード押え材 (70cm)	2
1-8	ユニバーサル(22用)	8
1-9	ユニバーサルボルトナット	各8
1-10	遮光ネット紐付	1
1-11	防虫ネット	1

2.シートを張る… P.4

No.	品名	数量
2-1	水貯めシート	3 (予備分2枚含む)
2-2	スプリング (38cm/60cm)	38cm:4 60cm:8

3.栽培を始める… P.7 P.8

No.	品名	数量
3-1	栽培ボード	2
3-2	栽培ホルダー	12 (予備分2個含む)
3-3	栽培シート	40
3-4	肥料 微粉ハイポネックス [®]	1
3-5	スポット	1

※タネは別売りです。

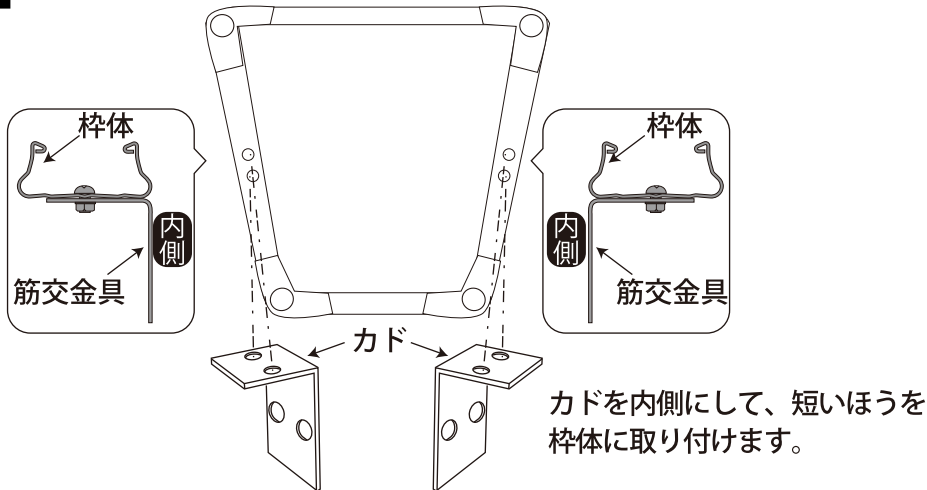
◎必要工具 (ご用意ください) 保護手袋・ドライバー (+, -)・プライヤー
洗濯バサミ (クリップ)・ピンセット

架台を立てる

保護手袋・ドライバー (+、-) ・プライヤー

⚠️ 必ず保護手袋を着けて作業してください。

1 ベンチ枠体に筋交金具を取り付けます。



ボルトは上から差し込みナットで止めます。



使用する部材



×1

(1-3) ベンチ枠体



×2

(1-4) 筋交金具



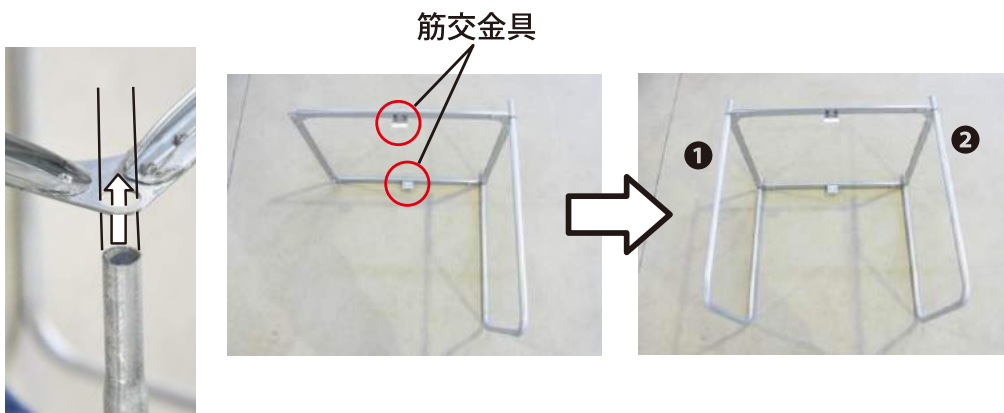
×4

(1-6) 筋交取付用ボルト・ナット

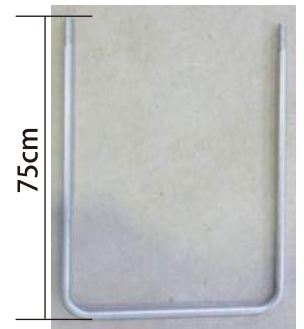
◎ボルト・ナットは複数同梱してあります。間違えないようご注意ください。

2 ベンチ枠体に脚パイプを取り付けます。

ベンチ枠体を横にして、枠体の四隅の穴に脚パイプの先端を差し込み取り付けます。



使用する部材



×2

(1-1) 脚パイプ (75cm)

3 架台に筋交を固定します。

使用する部材



×4

(1-5) 脚部筋交 (55cm)
※5ページにある(1-7)栽培ボード押え材とは長さが違います。ご確認ください。



×4組

(1-6) 筋交 取付用ボルトナット (M6×10)



×4

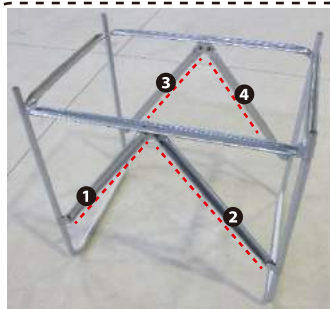
(1-8) ユニバーサル (22用)



×4組

(1-9) ユニバーサル用ボルト・ナット

◎ボルト・ナットは複数同梱してあります。間違えないようご注意ください。



《完成イメージ》
筋交のミゾのある面を外側に向けて取り付けます。

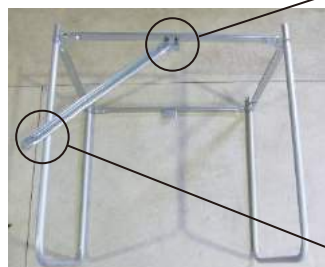


架台を横にしたまま、ベンチ枠体、脚パイプの順で筋交を取り付けます。

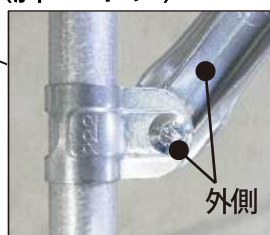
〈ベンチ枠体〉※筋交取付用ボルトナット



写真のようにボルトを裏側から差し込み固定。



〈脚パイプ〉 ※ユニバーサルボルトナット



脚パイプの4箇所は**仮止め**。

◎ユニバーサルの止め方



根角ボルト



蝶ナット (内側)

写真のように外側からユニバーサル、筋交を重ねてネジ止めします。

《架台組み上がり》



筋交の取り付け位置を動かし、脚パイプと枠が90°になるよう調節し、各部のボルト・ナットをプライヤーで**しっかり締めます**。



ボルトナットはしっかりと締めてください。本締めが不十分だとベンチ枠体から脚パイプが抜けることがあります。ご注意ください。

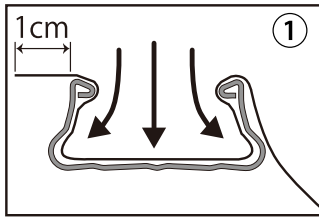
4 ベンチ枠体に水貯めシートを取り付けます。



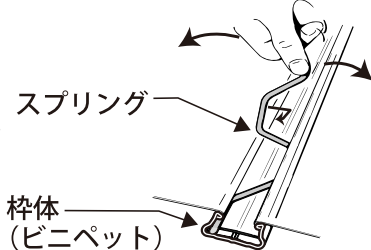
2回目以降はネット用パイプを取り外した状態で張りますと
きれいにシートを張ることができます。
※パイプの抜き差しは確実に行ってください。外した状態の端部には
十分ご注意ください。

◎シート止めの基本

- 1.シートは枠体から1cm外側に余裕を持たせ (①)、
ミゾにシートを押し込みます (②)。
- 2.辺の端からシートを押えるように、スプリングで留めて
いきます (③)。



スプリングの挿入方法



スプリングを矢印の方向に動かし、
枠体のミゾに水貯めシートのうえ
からスプリングを押し込むよう
に入れていきます。

使用する部材



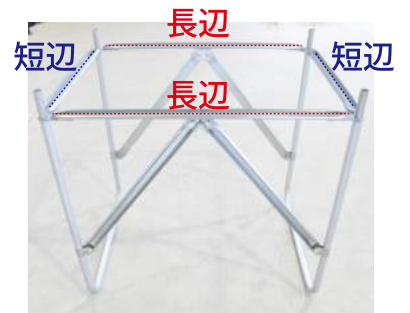
×1
(2枚は交換用)

(2-1) 水貯めシート
※印刷がある面が水を
貯める面です。



60cm×2
38cm×2

(2-2) スプリング



《架台》

※あまった水貯めシートや
スプリングは交換用です。
大切に保管してください。

長辺

※スプリング：60cm 使用



架台にシートをかぶせ長辺から
スプリングで止めます。



シートに水を貯めるため、
余裕を持たせて止めます。

長辺2箇所を先に止めてから
短辺2箇所を止めます。その際、
洗濯バサミ等で仮止めするとキ
レイに張れます。



短辺

※スプリング：38cm 使用

短辺も同様、ミゾにシートを押し込み、シートの四隅を写真のように重ねて
ミゾに折り込みます。



シートの隅を整える



短辺ミゾに折り込む



スプリングで止める

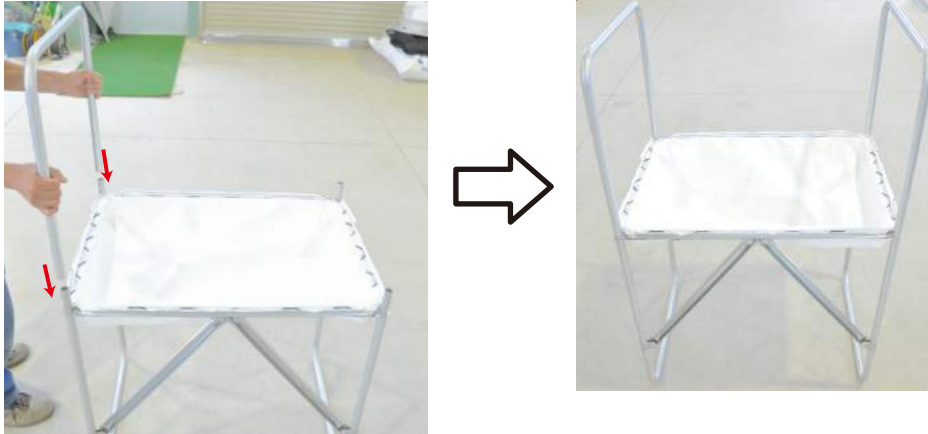


水はまだ入れません。
栽培を始める(P.7)をご参照ください。

5 ネット用パイプを取り付けます。

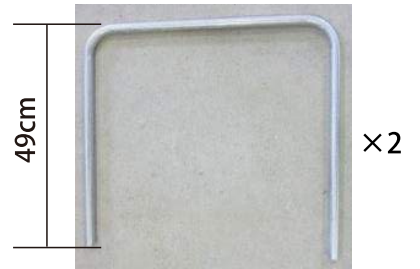
! ネット用パイプは脚パイプに差し込むだけです。移動や持ち上げる際は必ず脚パイプを持って持ち上げてください。

水貯めシートを張ったのち、架台の脚パイプにネット用パイプを上から差し込みます。



1本ずつ順番に取り付けてください。

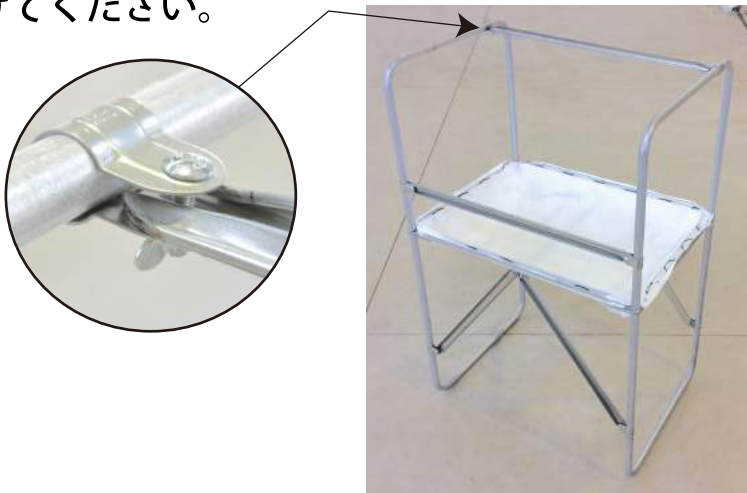
使用する部材



(1-2) ネット用パイプ(49cm)

6 ベンチ枠体に栽培ボード押え材を取り付けます。

押え材を1本ずつ片側からユニバーサルボルトナットで取り付けてください。



使用する部材



◎ユニバーサルの止め方



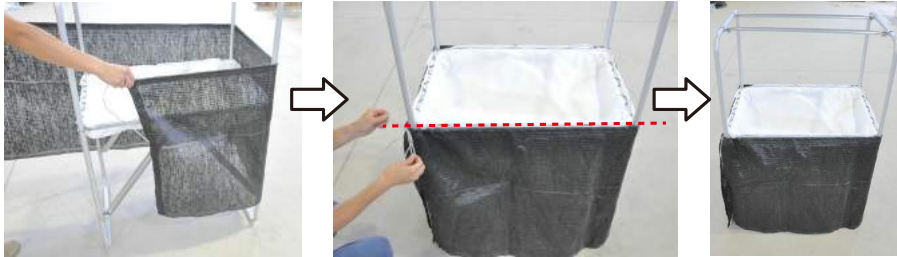
ユニバーサルの間に押え材を入れてネジ止めします。

押え材はスライドさせますので、ナットは外れない程度で締めてください。

! 押え材はミゾのある面を上にして止めます。栽培ボードを取り外す際は上にスライドさせてください。

7 遮光ネットを巻き付けます。

ベンチ枠体と同じ高さに遮光ネット上面を合わせて巻き付けます。



上面のヒモを締めた後、下面のヒモもネットがバタつかないように巻き付けます。

使用する部材



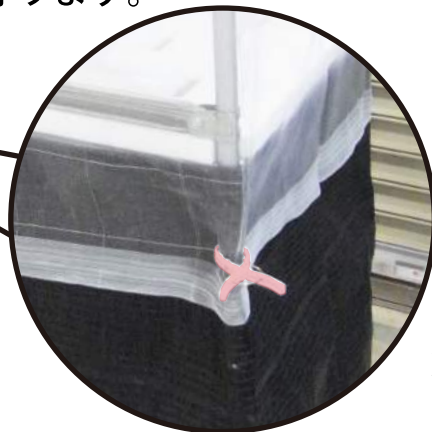
×1

(1-10) 遮光ネット

8 防虫ネットをかぶせて完成です。



専用の防虫ネットをかぶせることですき間がうまれにくく、中の作物を虫から守ります。



強い風で防虫ネットがめくれたり、飛ばされそうな場合は洗濯挟みなどでパイプ(4隅)に止めてください。

使用する部材



×1

(1-11) 専用防虫ネット

⚠️ 栽培を始める前に、もう一度ご確認ください。

- 部品の取り付けもれがないか、再度ご確認ください。
- 栽培を始める前に、架台に歪みがなく、各部のボルト・ナットに緩みがないことを再度ご確認ください。
- 移動する場合は水を入れる前に行ってください。日当たりの良い雨風を避けられる場所に設置してください。

栽培を始める

1 水貯めシートに水と肥料を入れます。



セットに含まれる肥料(微粉ハイポネックス®)以外の物を使用しないでください。

肥料が足りなくなった場合は『微粉ハイポネックス®』をお近くのホームセンターや園芸種苗店などでご購入ください。

有機肥料は絶対に使用しないでください。腐敗し、悪臭の原因になり、作物の生育を妨げます。



水 水を入れる目安は、水貯めシート上面より1cm下の位置です。標準水量はおよそ35リットルです。(水量はシートの張り具合により多少変化します。)

肥料 肥料は水1リットルあたり1グラムです。専用のスプーン(付属)で計り、入れてください。

※水は必ず水道水をご使用ください。

使用する部材



×1

(3-4) 肥料 微粉ハイポネックス®



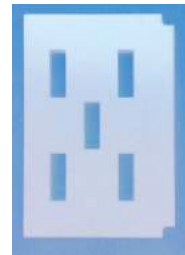
×10組

(3-2) 栽培ホルダー



(3-3) 栽培シート

◎色による生育の違いはありません。



×2

(3-1) 栽培ボード



×1

(3-5) スポイト

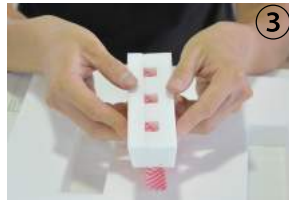
2 栽培ホルダーに栽培シートをはさみます。



①



②



③

栽培シートはホルダー (A) 上部から1~2mm出るように添えます (①)。ホルダー (B) を (A) のミゾに合わせ、シートがずれないように組み合せてください (②, ③)。

※栽培シートは1枚ずつホルダーにはさみ、1作ごとに新しい栽培シートに交換してください。

3 栽培ボードを置き、栽培ホルダーを差し込みます。



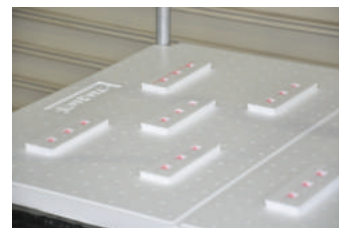
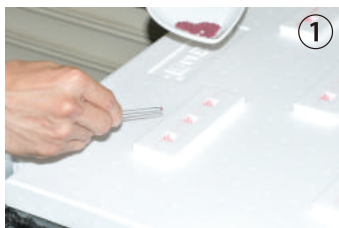
栽培ボードの角のくぼみをネット用パイプに合わせて、重ならないように2枚を左右に置いてください。

※栽培ボードと栽培ホルダーは繰り返しご使用ください。汚れた場合は柔らかいスポンジを使い、軽く水洗いしてください。



栽培シートを栽培ボードに引っ掛けないように差し込んでください。差し込んだのち、栽培シートが養液に浸かっているかご確認ください。

4 タネをまきます。



栽培ホルダーの穴に2~3粒ずつタネをまき(①)、
まいたタネにスポイトで4~5滴の水をかけて(②)発芽を待ちます。
発芽後は、生育の良い株を残し、間引きをします。間引きはひきぬかず、
ハサミで根元から切り取ります。

注) 株の太い植物を2株のまま育てると栽培ホルダーの穴が変形する場合があります。また、収穫期をすぎた作物は放置せず処分してください。根や茎が太くなりすぎ、栽培ホルダーを変形させたり、病気発生の原因になります。

◎ 栽培中の養液管理について！

週に一度程度、養液の量を確認してください。季節や栽培する作物により養液が著しく減少することがあります、ご注意ください。栽培シートが養液に浸っていない場合は、水道水1リットルに『肥料 微粉ハイポネックス®』1グラムの割合の養液を水貯めシートの上面から1cm下の位置になるまで足してください。

※水貯めシート破損による養液漏れの場合は、すぐに予備の水貯めシートに交換してください。

コマツナ

水 菜

チンゲンサイ

レタス

バジル

パセリ

シュンギク

サニーレタス

サンチュ

ルッコラ

使用上の注意

- 使用環境により、栽培ボード、栽培ホルダー、栽培シートにカビが発生する場合があります。日当たりが良く、風通しの良い場所でご使用ください。
- 栽培シートの使用は一回限りとし、使用後は可燃ゴミとしてお出してください。(お住いの地域のルールに従って廃棄してください。)
- 収穫適期のすぎた作物を放置せず、刈り取ってください。大きくなりすぎた作物が栽培ホルダーや栽培ボードを変形・破壊してしまいます。
- 収穫後は水貯めシートをスポンジで軽くこすって洗ってください。強くこするとシートが傷つき水漏れの原因になります。

ハイポネックス®は株式会社ハイポネックスジャパンの登録商標です。
デザイン、仕様等は予告なしに変更する場合があります。

 **東都回業株式会社 園芸事業部**
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1
TEL : 03-3566-0237
<http://www.toto-vp.com/engei/>